

造船学術研究推進機構 2020年度研究奨学生 募集要項

造船学術研究推進機構（REDAS：Fundamental Research Developing Association for Shipbuilding and Offshore）は、我が国造船業が将来も魅力ある産業として発展していくためには、造船所自らの研究開発の活性化はもちろん、その基盤となる大学における学術的基礎研究の活性化が極めて重要であるとの認識のもと、「大学における船舶・海洋関連の学術的基礎研究活動の一層の活性化、および多くの優れた人材のこれら研究分野への積極的参加」を支援するため、1993年2月に一般社団法人日本造船工業会内に設立された組織です。

2018年度より、従来の研究助成事業に加え、博士後期課程への進学者に対する研究奨学事業を開始しました。研究奨学事業では、大学における学術研究遂行に優秀な大学院生を参画させ、質・量両面から大学の研究体制を充実させるとともに、我が国造船業の発展に資する高度な研究開発能力を有する人材を育成するため、博士後期課程への進学者に対し、学資支援を目的とした研究奨学金を支給します。

1. 応募資格

応募時において大学院研究科の博士前期（修士）課に在学し、学業・人物ともに優秀であって、当機構が指定する大学院研究科（注1）の博士後期課程への進学を希望する学生。

注1 当機構が指定する大学院研究科（このうち船舶・海洋関連の研究室に限る）

大学	大学院研究科・専攻
東京大学	工学研究科システム創成学専攻
	工学研究科技術経営戦略学専攻
	新領域創成科学研究科環境学研究系
横浜国立大学	理工学府機械・材料・海洋系専攻海洋空間システムデザインユニット
大阪大学	工学研究科地球総合工学専攻船舶海洋工学コース
広島大学	工学研究科輸送・環境システム専攻
九州大学	工学府海洋システム工学専攻
	工学府都市環境システム工学専攻
	工学府建設システム工学専攻
大阪府立大学	工学研究科航空宇宙海洋系専攻海洋システム工学分野
東海大学	海洋学研究科海洋学専攻
長崎総合科学大学	工学研究科総合システム工学専攻生産技術コース

2. 支給期間及び支給額

採用後、最長3年間、年額60万円を研究奨学金として支給します。2020年度採用者は、2021年度分から支給を開始し、2022年度分、2023年度分を支給します。ただし、2020年度採用者であって2020年度から博士後期課程に進学する者にあっては2020年度分から支給を開始し、2022年度分まで支給します。

3. 採用予定数

2020年度は、応募者の中から最大3名を採用予定です。

4. 応募方法

下記の必要書類等を、在学する大学経由で当機構事務局へ郵送にて提出してください。

- ① 応募申請書
当機構所定の様式に所要事項を記入したもの。正1部及び副1部。
- ② 指導教員の推薦書
当機構所定の様式に現在の指導教員が記入したもの。正1部及び副1部。厳封のこと。
- ③ 成績証明書
大学の学部における成績証明書。正1部及び副1部。
- ④ 電話番号
審査は審査員による書面審査と電話インタビューにより行います。連絡可能な電話番号（携帯電話可）を応募申請書の所定欄に記入してください。
なお、インタビュー日程は審査員と協議の上、応募者に通知します。

※応募申請書等の様式は当機構のウェブページよりダウンロードするか、事務局までお申し込みください。

※提出後、選考結果の通知までの間に記載事項等に変更が生じた場合は、速やかに事務局まで連絡してください。

提出先： 〒105-0001

問い合わせ・提出先：
国際室
ryugaku@gr.saitama-u.ac.jp

~~東京都港区虎ノ門 1-15-12 日本ガス協会ビル3階
一般社団法人日本造船工業会内 造船学術研究推進機構事務局
TEL：03-3580-1564
E-mail：redas@sajn.or.jp
URL：https://www.sajn.or.jp/redas~~

5. 応募期限 **2020年2月18日（火）11:00まで**

~~2020年3月3日（火）必着（当日消印有効）~~

6. 選考結果の通知および採用手続

- (1) 当機構の審査委員会において慎重に審査のうえ、採用者を選定します。
- (2) 2020年6月末までに郵送にて応募者及び指導教員宛に選考結果を通知します。なお、採用見込み者とその指導教員に対しては2020年4月末を目途に別途内々定通知を送付します。
- (3) 採用者は、採用内定通知とともに送付される手続要領に基づき、所定の期間内に必要な採用手続（銀行口座届、博士後期課程の合格通知書その他手続書類の提出等）を行っていただき、手続完了を以って正式に採用となります。所定の期間内に採用手続が行われない場合は、採用を辞退したものととして取扱います。

7. 他の奨学金等との併用の取扱い

支給開始時に、次に掲げた内のいずれかに該当する場合は、本制度による支給対象となりませ

ん。

- ① 日本学術振興会特別研究員
- ② 国費外国人留学生
- ③ 外国政府派遣留学生等、外国政府の奨学金により支援を受けている留学生

8. 採用者の義務

- (1) 各年度末に、採用者本人による当該年度の研究成果等を記載した報告書、指導教員による修学状況・素行等を記載した報告書を提出してください。
- (2) 指導教員の変更や組織改編等に伴う連絡先等の変更があった場合は、速やかに当機構まで報告してください。
- (3) 採用通知後に日本学術振興会特別研究員に採用された場合は、速やかに当機構まで報告してください。

9. 支給の中止等

次に掲げた内のいずれかに該当する場合は、支給を中止するとともに、支給済みの研究奨学金の返済を求める場合があります。

- ① 日本学術振興会特別研究員に採用されたとき
- ② 学業成績の不振、素行不良又は傷病などに起因して、博士後期課程修了の見込みがないと認められたとき
- ③ 指導教員より停学、休学又は退学の報告のあったとき
- ④ 採用者の義務が果たされないとき
- ⑤ その他本事業の趣旨に則り支給の継続が不相当と認められるとき

以 上

造船学術研究推進機構

Fundamental Research Developing Association for Shipbuilding and Offshore

--- REDAS ---

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-15-12

日本ガス協会ビル 3階

一般社団法人日本造船工業会内

TEL : 03-3580-1564 FAX : 03-3580-1633

E-mail : redas@sajn.or.jp

URL : <https://www.sajn.or.jp/redas>

造船学術研究推進機構 研究奨学生応募申請書等 記入要領

「造船学術研究推進機構 研究奨学生」の応募に当たっては、募集要項を確認するとともに、以下の要領に従い応募申請書等を作成してください。

<①応募申請書>

1. 進学に際しての決意

博士後期課程への進学の動機や意気込み、目標、成し遂げたいこと等を記入してください。

2. 将来のキャリアビジョン

博士後期課程修了後の目標や計画、キャリア形成等について記入してください。

3. 平日に連絡可能な電話番号

審査員による電話インタビューを実施しますので、平日日中に連絡可能な電話番号を記入してください。

応募締切後、インタビュー日時の調整及び要領の伝達等を目的として本機構事務局より応募者に個別に連絡を行います。

4. 研究予定

博士後期課程進学後に予定（希望）している研究について、項目に沿って記入してください。また、必要に応じて補足説明書（A4用紙2枚以内）を添付してください。

（1）研究テーマ名称

研究テーマ名称を記入してください。

（2）研究の目的と概要

研究の目的と概要について、簡明に記入してください。

（3）研究項目と実施方法

研究項目と項目毎の研究の実施方法について、具体的かつ簡明に記入してください。

（4）期待される効果

本研究の成果により期待される効果、あるいは研究が与えるインパクトについて、簡明に記入してください。

5. 本人事項

応募者本人の事項について、項目に沿って記入してください。

連絡先は、自宅・大学等を問いませんが、郵便物や電話・メールの受信に支障が生じないように留意し、正確に記入してください。

進学予定の大学院の就学期間は、博士後期課程の正規修業年限（3年）としてください。

<②指導教員の推薦書>

1. 学生氏名

推薦する学生の氏名を記入してください。

2. 推薦理由

推薦理由について、項目に沿って記入してください。

(1) 人物概評

人柄、性格、本人の将来像等、推薦する学生の人物について記入してください。

(2) 勉学・研究への取組み状況

推薦する学生の勉学・研究に向かう意欲や修学状況等について記入してください。

(3) その他

推薦する学生に関して、審査に当たって有用と考えられるその他の事項があれば記入してください。

<③成績証明書>

応募者が卒業した大学が発行した学部の成績証明書を送付してください。

以 上

問い合わせ先

造船学術研究推進機構事務局（担当：中島）

TEL：03-3580-1564

E-mail：redas@sajn.or.jp